

第5回 九州角膜フォーラム

日時: 2019年10月19日(土) 17:30～20:30(予定)

場所: 電気ビル 4F みらいホール

会費: 1,000円

17:30

第1部 一般講演

PART① 感染症難症例

座長: 横山 勝彦先生(大分大)

- ・「Scedosporium Apiospermumによる感染性強膜炎の1例」 杉田 直大先生(宮崎大)
- ・「難治性単純ヘルペス角膜炎の1例」 佐々木 研輔先生(久留米大)
- ・「アカントアメーバ角膜炎に連続して生じた角膜内皮炎の1例」 中尾 功先生(佐賀大)
- ・「LEDフラッシュライトを用いた真菌観察」 内野 英輔先生(鹿児島園田眼科)

PART② 手術に関するトピックス

座長: 上松 聖典先生(長崎大)

- ・「治療的角膜移植の長所と限界」 佐伯 有祐先生(福岡大)
- ・「硝子体手術後水疱性角膜症に対する
Double bubble techniqueを用いたDMEK治療の検討」 親川 格先生(ハートライフ病院)
- ・「角膜穿孔眼のマネジメント」 森重 直行先生(大島眼科病院)

18:20

★特別企画 角結膜疾患のココが聞きたい！

座長: 門田 遊先生(久留米大)

日常診療での角結膜疾患のお悩みを専門医がお答えします。お気軽に質問をお持ちください

18:50

第2部 特別講演

座長: 内尾 英一先生(福岡大)

宮田 和典先生(宮田眼科病院)

「角膜疾患の意外な犯人: 隠れた微生物をさがせ！」

井上 幸次先生(鳥取大)

19:50

第3部 チャレンジ難症例

座長: 内尾 英一先生(福岡大)

宮田 和典先生(宮田眼科病院)

- ・「重篤な非感染性角膜潰瘍にDALKと三日月状角膜パッチの併用を行った1例」 中村 陸先生(大分大)
- ・「角膜穿孔の閉鎖にシアノアクリレートが有効であった4例」 子島 良平先生(宮田眼科病院)
- ・「診断に苦慮した角膜穿孔の1例」 草野 真央先生(長崎大)

- ✓ 講演会終了後、情報交換会をご用意しております。
- ✓ 託児所をご用意しておりますので、ご希望の先生は事前に宮浦(s.miyaura@senju.co.jp)にご連絡ください。

『 角膜疾患の意外な犯人：隠れた微生物をさがせ！ 』

鳥取大学医学部 視覚病態学
教授 井上 幸次先生

角膜感染症は通常は強い炎症を起こしてくるため、原因の微生物を特定することは困難であっても、少なくとも感染症であることを診断するのは難しくないと考えられている。しかし、実は感染した微生物の性質と感染を受けたホストの状況によってさまざまな病態を示してくる。微生物は意外に賢く、ホストの免疫から身を守ってひっそりと暮らしていくすべも心得ており、また、私たちが使うステロイドが本来の感染症をマスクしてしまうこともよくある。その結果、一見感染症でないように見えるケースが出てくるのである。あるいはある微生物の感染の裏に別の微生物が潜んでいる場合もある。

本講演では硝子体手術後のプラーク、発達緑内障、角膜移植後拒絶反応などのように見えて、実は真犯人が細菌・真菌・ヘルペスなどの微生物であったという症例、あるいは真犯人の微生物が想定外だった症例を供覧し、その病態の背景となった微生物側の因子、ホスト側の因子について考えてみたい。また、犯人さがしのツールとして有用なreal-time PCRについても紹介したい。

ご案内

電気ビル みらいホール 福岡市中央区渡辺通2-1-82 TEL0120-222-084



※ お車でお越しの先生は近隣の「みらいパーキング」への駐車にご協力ください。